

平成28年度 田原西小学校 学校評価書（案）

1 教育目標（目指す児童像含む）

- ・基本目標・・・児童一人一人の特性や能力を最大限に伸ばし、心身共に健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。
- ・具体目標・・・子どもスローガン「いきいき にこにこ がんばる子」
- ・健康で明るい子 ・思いやりのある子 ・自ら考える子 ・がんばりぬく子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「元気なあいさつの響く 教師も児童も生き生きとして 学び合う学校づくり」
 子どものよりよい成長のためには、教職員、保護者・地域住民の関わりが重要であり、3つの視点からテーマを設定した。そして、日々の生活にあいさつが響き、明るく活気のある学校、子ども一人ひとりが生き生きと学び、子どもが育つ学校、楽しく安心して生活でき、保護者・地域住民から信頼される学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 21世紀に生きる心豊かな人間を目指し、その基盤となる資質や学力の向上に努める。
- (2) ○教育者としての使命を自覚し、絶えず自己研修に努め、愛情と信頼、創意と工夫による生き生きとした教育活動の推進に努める。
- (3) 社会的規範の中で、基本的な生活習慣や健康で安全な生活を身につけ、自ら律していける能力をもった児童の育成に努める。
- (4) ○「うつのみやいきいき学校プラン」の理念や趣旨をふまえ、明るく活気にあふれる教育活動を実践し、心豊かな児童の育成と好ましい校風づくりに努める。
- (5) 開かれた学校づくりを目指し、家庭や地域社会との連携・融合を図り、相互に補完し合いながら地域に根ざした教育活動の推進に努める。
- (6) 施設・設備の効果的な活用に努め、学習に働きかける環境構成のより一層の充実を図るとともに、安全な学校を目指し、危機管理を徹底する。

[田原地域学校園教育ビジョン]

自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

元気なあいさつの響く 教師も児童も生き生きとして 学び合う学校づくり

【 学 習 指 導 】

学ぶ喜びを知り、自ら考える子の育成を目指した学習指導法の改善

【 児 童 生 徒 指 導 】

○元気に生き生きと生活し、進んで明るいあいさつができ、思いやりをもって行動できる児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

○自分の体に関心を持ち、進んで健康づくりに取り組む児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 一人一人の児童が学級で存在感を実感できるように、児童の建設的な自己決定ができる場や自主的・自律的に取り組む場を設定する。</p>	A	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は92.1%で、昨年よりやや増加し、目標数値を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度同様に児童主体の活躍の場を多く設け、活気あふれる学級づくり、学校づくりを目指していく。 ・各種掲示物の充実と物品の整理・整頓など教育環境を整える。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は熱心に指導してくれる」⇒児童・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 毎時間の指導内容を明確にし、「わかる授業」の展開をめざして指導方法の工夫をするとともに家庭学習の習慣づけを図る。</p> <p>② 一人一人の教職員が参画意識をもち、協力し合いながら日々の教育にあたる。</p>	A	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答が96.9%と昨年同様だったものの、保護者は87.5%と昨年よりやや減少したが、ともに数値指標は達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校での取り組みを様々な機会や伝達方法を活用して保護者や地域に伝えるよう努めていく。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 廊下の歩行、チャイム着席を含む時間の厳守を重点課題とし、秩序と安全の大切さについて、根気強く指導する。</p> <p>② 教職員による生活当番活動の仕方を工夫し、規範意識の醸成を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が95.2%で、昨年度と同じである。目標数値は十分達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取組を継続するとともに、生活当番活動を見直し実施しやすくする。</p>
	<p>A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「分かりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① TTによる指導や少人数による習熟度別学習の充実を柱に、国語・算数の基礎・基本の定着に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答が95.2%であり、昨年度より向上している。目標数値は十分に達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取り組みを継続するとともに、内容の充実を図る。</p>
	<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートA5⇒保護者の肯定回答80%以上</p>	<p>① いじめゼロ集会を保護者会や地域に公開し、地域ぐるみでいじめを根絶しようとする意識を高める。</p> <p>② 学年、学級等でいじめ根絶に関する学習を行い、その取組について、学校だよりや学年だより、ホームページ等で公表する。</p>	B	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、70.9%と目標数値を下回ったが、昨年度比11.5%向上した。いじめゼロ集会の公開やホームページ等で、情報提供した成果と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 今年度同様、予防的指導を継続するとともに、いじめゼロ集会を早めに通知して出席者の増加を目指し、意識の高揚を図る。</p>

<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている。」⇒保護者・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校行事等について、教職員に反省等のアンケートを行い、改善点について検討し次年度に生かす。</p>	<p>【達成状況】 保護者及び教職員の肯定的回答がともに95%以上と高い評価を得て、数値目標を達成している。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度同様にバランスよく学校行事を計画するとともに、柔軟な日課等の運用を行う。 ・数値目標を85%以上に設定し、更に円滑な教育課程の実施を図る。</p>
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 年3回の授業参観や年2回の学校公開日を設ける他に、音楽集会への自由参観、HPでの情報発信など、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>② 学校便り、学年便り、その他各種便りを積極的に発行し、保護者や地域協議会の方に取組を知らせる。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は95.4%と高い評価を得ている。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・数値目標を85%以上に設定し、情報の発信を更に様々な機会を捉えて活発に行い、学校教育への理解を広めていく。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用し、学校運営の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は90.7%と昨年よりやや増加した。地域住民は93.3%と昨年よりやや減少したものの数値目標は十分達成している。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・学校や地域協議会の取組を様々な機会を捉えて情報発信し、学校教育への理解を広める。 ・家庭、地域の人的・物的資源を積極的に授業に取り入れる。</p>
<p>B 1 危機管理への対応に努め児童の安全を確保する。</p> <p>【数値指標】 独自アンケート「学校は避難訓練・防犯指導を通して、危機管理への対応に努めている。」 保護者・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 避難訓練・不審者対応の訓練（年4回）・引き渡し訓練・防犯指導を通して、児童が危機認識をもち、安全に退避できる態度を育てる。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は、96.4% 地域住民は100%と高い評価を得て、数値目標を達成している。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 緊急時の対応を全職員・児童で共通理解を徹底するとともに、PTA緊急対策委員会との連携を図っていく。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 縦割り清掃の推進や校内緑化の充実を図り、自ら進んで学校をきれいにする態度を養う。</p> <p>② 児童に机やロッカーの整理整頓を指導し理解させ、学習環境を整える。</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は95.5%で、昨年度より向上している。数値目標も十分達成している。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取り組みを継続するとともに、内容の充実をはかる。特に備品に関しては、使う頻度を再考し、必要なものが使いやすく揃っている状態を保つ。</p>

教育活動の状況	<p>A10 児童は、進んであいさつをしている。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 児童会で継続する「あいさつサポーター」制度や、PTAや地域と連携を図ったあいさつ運動を推進し、その様子をPTA広報誌に掲載してもらい啓発を進める。</p> <p>② 家庭や地域でも進んであいさつができるよう、保護者の意識を高めたり協力を得たりできるような啓発の仕方を工夫する。</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、58.0%と目標数値を下回ったが、昨年度比10.2%向上した。教職員の肯定的回答は90.5%であり、目標数値は十分達成できた。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 今後も、家庭や地域との連携を図り、啓発を促進する。</p>
	<p>A11 児童は、正しい言葉づかいをしている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉遣いをしている」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 低学年から敬語を使うよう働き掛け、日々の生活や授業の中で、丁寧な言葉遣いが当たり前になるよう積極的に指導する。</p> <p>② 家庭での望ましい言葉遣いや時と場に応じた言葉の選び方等について、学校だより等で具体的な内容を示し、保護者と協力して指導していく。</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は、60.4%と目標数値を下回ったが、昨年度比9.4%向上した。教職員の肯定的回答は85.7%であり、目標数値は達成できた。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 今後も、敬語の使用や丁寧な対話を推進するとともに、保護者と協力し、地域や家庭においても望ましい言葉を遣おうとする意識を高める。</p>
	<p>B2 全校児童が仲良く元気に生活する。</p> <p>【数値指標】 独自アンケートの「自分は、休み時間に友達と仲良く元気にあそんでいる」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① はつらつタイムや昼休みに仲良く元気に校庭で遊んだり、クラス遊び（ハッピータイム）を工夫したりするよう指導する。</p> <p>② 縦割り清掃や児童会活動を通し、児童相互に協力し合い、互いの良さを認め合えるような機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答が91%で、目標数値を十分達成した。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取組を継続し、友達と適切に関われる児童を増やしていく。</p>
	<p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 各学級で休み時間の外遊びを推奨し、児童の意識を喚起する。</p> <p>② 運動委員会によるイベントを企画・実施し、運動の楽しさを体験させる。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が95.2%、児童の肯定的回答が88.3%で、目標数値を達成した。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 今後も今年度の取組を継続するとともに、冬季の外遊びもさらに推奨していく。</p>
健康・体力	<p>A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 給食だより・保健だより等の発行や学級活動をとおして、食育の大切さ・健康の大切さを児童に指導する。</p> <p>② 授業参観や土曜授業等で食育や健康に関する授業を行い、保護者に啓発する。</p> <p>③ 適切な給食指導を行う。</p>	<p>【達成状況】 ・目標数値には、保護者・児童は下回ったが昨年よりは向上した。教職員は95.2%と目標数値をかなり上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取組を継続する。特に、家庭との連携が重要とされる項目であるため、今後も授業参観や土曜授業で食育や健康に関する授業を行い、効果的な指導を行っていく。</p>

	<p>B3 体力づくりをすすめる。</p> <p>【数値指標】 独自アンケートの「自分は運動会や持久走記録会、水泳や縄跳び検定に進んで取組運動している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 体力テストの結果を踏まえ、体育的行事のための長期練習や水泳、なわとび等の各種検定を通して、個の技量に応じて取組む態度を養う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教員・保護者・地域・保護者のすべてにおいて目標数値を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 今年度、各種検定カードを見直し、取り組んだ成果が出ているものと考えられる。今年度の取組を継続していく。</p>
	<p>A14 児童は、進んで学に取り組んでいる。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 発達段階に応じ、授業中における話し合い活動の場を多くして、コミュニケーション能力の伸長を図る。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は100%であり、目標数値を十分に達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・学び合い活動「たにしタイム」の研究をさらに進め、効果的な指導を実践していく。</p>
学 習	<p>A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。[全]</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 本校の「学習のやくそく」や「良い子のやくそく」を柱とし、基本的な学習態度の育成について、各学級での指導を徹底していく。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答 95.2%で、昨年度と変化はないが、目標数値は十分に達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・「学習のやくそく」「よい子のやくそく」を柱に指導方針を共有し、成長過程に応じた声掛け・指導を全職員で実践・徹底していく。</p>
	<p>B4 読書が好きな心豊かな児童の育成に努める。</p> <p>【数値指標】 独自アンケート「自分は本を読むことが好きである」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 図書館の活用はもちろん、週1回朝の読み聞かせ・週1回の朝の読書や外部人材の活用を通して、読書指導や言語環境の充実を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答 86.9%であり、目標数値を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・校内の取り組みを継続するとともに、図書委員会の活動や地域学校園図書部会の取り組みを取り入れ、内容の充実をはかる。</p>
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	<p>B5 わかる、できる、楽しい授業の工夫・ゆめチャレンジ学習の実践に努める</p> <p>【数値指標】 独自アンケート「自分は、ボランティアティーチャーや地域の人といっしょに、楽しく学習している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 街の先生（地域人材）、企業の人材、保護者ボランティア等と連携した教育活動の実践を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答が93.1%と数値目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 地域年間指導計画を整備し、地域人材や外部機関の活用を図り、より魅力的教育活動の実践を図っていく。</p>
	<p>B6 心の教育の充実を図る</p> <p>【数値指標】 独自アンケート「自分はクラスの友達に優しく親切にしている」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 道徳教育や異学年交流、飼育栽培活動などをとおして、心の教育を推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答が91.7%で、目標数値を十分達成した。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取組を継続し、児童の温かな心を育てていく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全体的に良い結果が出ている。特に児童の肯定的回答率は多くの項目において昨年度より上回っており、明るく生き生きとした雰囲気の中で学校生活を送っている。悩みを抱えている子の早期発見や子ども同士のトラブルの早期解決は、家庭と連携・協力しながら今後も継続して行いたい。

○A3の授業と生活のきまりやマナーが向上したという保護者・児童の回答を得た。全ての学級で落ち着いた授業が成立しており、今後はアクティブラーニングの視点からの授業改善を通してさらに子どもの主体的な授業づくりを進めたい。

○A5いじめ対策の積極的な公表については、例年低い数値になっているが、今年度は「いじめゼロ集会の公開」や「人権標語」のアピール等の情報発信が功を奏したと思われる。

○A7の積極的な情報発信・提供については、本校HPの閲覧数の倍増等から、理解を得られたと考えられる。

○A8の家庭・地域・企業等との連携については、チーム学校の方針のもと、多くの外部講師に授業にかかわっていただいた結果であると考えら得る。今後は地域連携を教育課程に位置付け、子どもたちの豊かな学びにつなげたい。

○A10およびA11の時と場に応じたあいさつや言葉遣いは、かなりの向上がみられた。地域の方々や家庭での協力、地域学校園を上げてのあいさつ運動のさらなる充実を目指したい。

○A13の好き嫌い無く給食を食べることに関しては、教職員、保護者、児童とも、わずかではあるが改善されている。今後も食育の推進と充実を図りたい。

○A14の授業中の話し合いやわかりやすい発表についても向上がみられる。これは、校内研究の国語科の授業研究を通して、子ども同士の話し合いの時間（たにしタイム）を全ての教科の授業に位置付けた効果と思われる。

6 学校関係者評価

○全体的に良い結果が出ている。特に児童の肯定的回答率は多くの項目において昨年度より上回っており、明るく生き生きとした雰囲気の中で学校生活を送っている。悩みを抱えている子の早期発見や子ども同士のトラブルの早期解決は、家庭と連携・協力しながら今後も継続して行いたい。

○あいさつについての問題は昨年度に引き続いての課題となっているが、今年度は地域協議会主催で二度の挨拶週間を設け実施して成果を上げた。数値的にも成果が表れているので、引き続き今後も取り組みを続けたい。

○朝読ボランティアを含め、様々なボランティア活動への参加を呼び掛けていきたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

◇ 学校運営の状況

全市共通項目である15項目中、数値指標を達成したのは13項目であった。

「A3児童は、授業と生活の決まりやマナーを守り、秩序ある安全な学校生活をしている」については、児童の肯定的回答が80%を下回る結果となった。しかし、地域住民と教職員の評価は肯定的回答が96%、保護者は80.1%とおおむね良い評価を得ている。これについては次年度、認め励ます指導の中で児童の自尊感情を高めるよう心掛けたい。

「A5学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」については、児童・教職員・地域住民ともに95%以上の高い評価を得た。これは本校が作成しホームページで公開している「いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの早期発見のための児童へのアンケートや教育相談等の未然防止対策や、いじめ件数と取り組み状況の保護者に向けたプリントによる啓発活動の成果と思われる。しかしながら保護者の肯定的回答は63.1%と低い数値となっている。今後も学校の取組や姿勢を啓発し、理解を得られるようにしたい。また、児童の肯定的回答率は97.5%と高かったものの、100%ではなかったことを真摯に受け止め、2.5%の児童への配慮、原因の究明、早期発見、即時対応に努めたい。

◇ 教育全体の状況

生活面では、「A10児童は進んであいさつをしている」「A11児童は正しい言葉遣いをしている」に2項目に課題がある。経年比較では、ともに2ポイント上昇してはいるが、今後もさらに指導を継続・強化していきたい。また、これらについては家庭や地域との協力が欠かせないことから、連携を深めることが大切であると考えられる。

健康・体力面はすべての項目でよい結果となった。今後もこれまでの取組を継続したい。

学習面に関する項目「A14児童は、進んで学習に取り組んでいる」「A15児童は落ち着いて学習に取り組んでいる」については、おおむね目標を達成しているものの、各種の学力調査の結果から、さらなる学力向上の対策の必要性が課題となっている。これまでの取組を継続しつつ、基礎基本の確実な定着へ向けての対策を講じていく所存である。